

未来の担い手へ 大新地区で林業現場見学会を行いました

10月21日、林業について若い世代に興味を持ってもらい、未来の担い手を育てることを目的に、町主催で林業現場見学会を実施しました。

(有)館坂事業所と八雲産業(株)八雲事業所の協力のもと開催され、町内の親子27人が参加しました。

チェーンソーや高性能林業機械での伐採デモンストレーションが行われ、普段では見られない迫力ある作業風景に、参加された皆さんからは驚きの声が漏れていました。見学のあとは、ハーベスタなどの高性能林業機械への乗車体験が行われ、プロのオペレーターの指導のもと、運転操作やチェーンソーアートの実演もあり、参加した子供たちの笑顔がとても印象的でした。



お菓子くれないといたずらしちゃうぞ♪ さかえっ子クラブのハロウィン が行われました

10月30日、学童保育施設「さかえっ子クラブ」の子どもたちが、「ケアハウスひまわり・なのはな」と「シルバープラザ」を訪問し、ハロウィンイベントが行われました。

子どもたち各々が仮装やメイクを施して、「トリック・オア・トリート」の掛け声で、その場の雰囲気盛り上げてくれました。

お菓子をもらった子どもたちはうれしそうな顔を浮かべていました。また、かわいいおばけの訪問に、おじいちゃん・おばあちゃんや大人たちからも笑みが漏れていました。



広めよう！地元食材のおいしさ 学校給食センターに八雲町産 軟白ねぎの贈呈が行われました

11月2日、JA新はこだて八雲町軟白ねぎ生産組合から、学校給食に使用される軟白ねぎの贈呈（無償提供）がありました。

この取り組みは、地元食材の良さを子どもたちに伝える食育や、地産地消の観点から行われており、提供期間は11月～4月ころまでを予定されています。

実際に給食として軟白ねぎを食べた子どもたちからは、「いつもの長ねぎと比べて甘くて美味しい」という声が多数あがっていました。



山越小学校開校150周年 記念式典

11月3日、山越小学校の開校150周年記念式典が開催されました。

山越小学校は、学制交付翌年の明治6年に山越内教育所として開設された道内有数の歴史を誇る小学校で、これまで約2,600名が卒業しています。

初代校長の三井計次郎氏が掲げた校訓「至誠ヲ以ツテ事ニ當タリ 反省シテ道ヲ開ケ」は、同校の教育活動の核として現在も受け継がれています。

記念式典には、同窓生や歴代校長・教職員など130名が出席し、これまでの功績者への感謝状のほか、協賛会から学校と児童へ記念品贈呈が行われたあと、全校児童が器楽演奏と合唱を披露し、式典に花を添えました。

